

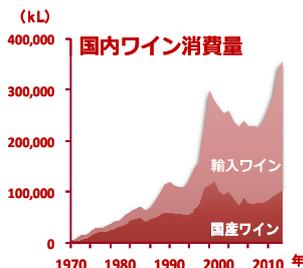


Brush up Program  
for professional

# 文部科学大臣認定 職業実践力育成プログラム(BP) 山梨大学ワイン・フロンティアリーダー養成プログラム

## 社会的背景・課題

- ① ワイン産業は、我が国の成長分野の一つであり、その6次産業化には国の重要課題である「地域資源で稼ぐ地域社会の実現」を目指す上で大きな期待が寄せられている。また、2010年より国産ワインの輸出が開始されたことに伴い、国際競争力を有する質の高いワイン造りが求められている。
- ② 国内のワイン消費量は、2013年度には36.4万キロリットルとなり、今後更なる増加が期待されている。また、国民に消費される酒類のうち、ワインの割合は年々増加し、現在3%程度であるが、今後も急速に増加するものと推測される。このような背景の下、日本のワイナリーが製造するワイン技術を向上させ、世界的な市場で勝負できるようにすることが、本プログラムの目的である。特に山梨県では2010年からワインの輸出が開始されたことへの対応を進めており、「強い農林水産業・攻めの農林水産業」を目指す政府の方針とも合致する。



## 修了後の受講生のイメージ

●日本ワインの未来を切り拓くワイン技術者＝ワイン・フロンティアリーダー養成

高品質ワインの製造能力、国際競争力、経営能力などを総合的に身につけることができる人材

- ①各ワイナリーの製造技術の向上、経営基盤の安定化
- ②日本ワインのブランド化、輸出量増加、各種コンクール等入賞数の増加
- ③農業や観光産業の活性化などが促進され、我が国のワイン産業が総合的に発展

## 事業概要

本プログラムでは、山梨大学がこれまで実施してきたワイン人材生涯養成拠点における実績を基に、より重層的な大学院カリキュラムを新たに導入することで、国産ワインの品質の向上、地域ブランド化、さらにはグローバルスタンダード化を中核となり推進できるフロンティアリーダーを養成する。このため、ワイン・ブドウ産業で実績のある社会人を対象とし、最新技術を学ぶ「高品質ワイン製造カリキュラム」に加え、テザイン学やワイナリー経営学等を学ぶ「新ブランド化カリキュラム」、さらにワイン法律学や国際ワイン学等を学び海外研修を行う「国際競争力強化カリキュラム」を実施する。

総授業時間数: 140時間

月次	5月	6月	7月	8月～10月	11月	12月	1月	2月
<b>&lt;高品質ワイン製造カリキュラム&gt; 60時間</b> ワイン醸造学(20時間)/ブドウ栽培学(20時間) /ワイン品質管理学(20時間)	→				→			
<b>&lt;新ブランド化カリキュラム&gt; 28時間</b> デザイン学(5時間)/ワイナリー経営学(8時間) /ワイナリー演習(10時間)/ソムリエ学(5時間)	→				→			
<b>&lt;国際競争力強化カリキュラム&gt; 52時間</b> ワイン評価学(30時間)/ワイン法律学(8時間) /国際ワイン学(4時間)/日本ワイン学(10時間)	→				→			
<b>海外研修(希望者)</b>								→

## 授業例

ブドウ栽培学  
剪定方法、農薬、土壌管理など  
講義と実習で学ぶ



ワイン評価学  
ボルドー大学のルベル教授による講義と官能検査実習



山梨大学ワイン科学士  
プログラム受講修了者は認定試験を受験し、  
合格者には認定証を授与する

## 社会人が受講しやすい環境整備

- ① ワイン生産の忙しい8月から10月は授業はなく、平日の講義は16:30(夜間)からとし、実習は土曜日に行うなど、社会人が学びやすくなるための授業設定
- ② 保育園と連携した託児サービスの実施・山梨大学男女共同参画推進室による支援を行うなど、受講しやすい環境を整備